

District 2770



世界に希望を生み出そう

会長：佐久間 誠
幹事：橋本 政行

Weekly Report

2023～2024 越谷東RC運営方針

挑 戦 ～未来は今始まる～

2023～2024 RIテーマ

世界に希望を生み出そう



越谷東
ロータリークラブ

創立1987年5月18日



〈例会日〉 毎週木曜日 12:30～13:30
〈事務局〉 〒343-0813 越谷市越ヶ谷3-7-1 (NTT東日本 越谷ビル2F)
☎ 048-965-2037 ㊚ 048-965-2011
<http://www.koshigayahigashi-rc.org/> E-mail:info@koshigayahigashi-rc.org

第1750回例会 2023年9月21日

司会：会場運営委員会／竹内 達也
会報No.1536号／担当：委員一同

会員数：56名／出席率：58.92%

基本的教育と識字率向上月間

ビジター・ゲスト【吉川ロータリークラブ】



バストガバナー
なかむら やすはる
中村 靖治 様



元ガバナー補佐
おが い み の る
尾ヶ井 實 様



2580地区直前ガバナー
しまむら ふみ お
嶋村 文男 様

プログラム

- ◆ 黙 想
- ◆ 開会点鐘 会長 佐久間 誠
- ◆ ローターソング斉唱 「それこそロータリー」
- ◆ クラブソング斉唱 「クラブ賛歌」(3番)
- ◆ ビジター・ゲスト紹介 会長 佐久間 誠
- ◆ 会長挨拶 会長 佐久間 誠
- ◆ 委員会報告 各 委 員 会
- ◆ 新会員入会式
- ◆ ビジター・ゲスト挨拶
しまむら ふみ お
2580地区直前ガバナー 嶋村 文男 様
- ◆ 外部卓話
なかむら やすはる
吉川ロータリークラブ バストガバナー 中村 靖治 様
テーマ「変わりゆくロータリー 変わらないロータリー」
- ◆ スマイル報告 社会奉仕委員会 五十嵐久幸
- ◆ 出席報告 出席委員会 山崎 勝己
- ◆ 閉会点鐘 会長 佐久間 誠

会長挨拶

会長 佐久間 誠

先週土曜日から3日間ジャカルタに行って参りました。

ジャカルタは2015年渋滞都市ワースト一位だったそうです。街中では日本企業とインドネシア国営企業がJVを組んで地下鉄工事をあちこちで施工しておりました。2013年から着工し2019年に一部運行が始まったと聞きました。以前2時間かかった通勤も今では20分で会社に着くとガイドさんがおっしゃっておりました。2030年の全線開通を目指し日本企業が現地で技術を教え、この事により経済も上向き、これらの事はロータリーの言う職業奉仕ではないでしょうか。



新会員入会式



関根 守 新会員

外部 卓話

テーマ

「変わりゆくロータリー変わらないロータリー」

なかむら やすはる
吉川ロータリークラブ パストガバナー 中村 靖治 様

皆様こんにちは。7年ぶりにお伺いしました。秋山さんを初めですね皆さんがご挨拶に来て頂いて、ずっと順番にご挨拶をさせて頂いたんですけども、途中で抜けてる人がいないんですよ。

みんな生きてらっしゃる。びっくりしましたよ。平林さんはひょっとしたら居ないかなと思ったらですね、腰を回復して今日病院から抜けて出てきたということで、生存が確認できて非常に嬉しく思っているところであります。

7年前、畔上順平君が入会をされました。ちょうど40歳の時であります。その時の会長が大野会長と小林幹事。越谷東ロータリークラブのテーマ「感謝をしあって、心をつに」、国際ロータリーのテーマがですね。「人類に奉仕するロータリー」って言うこれ。ジョン・Fジャーム会長でしたね。

青木さんがその当時のバッジをつける時の瞬間の写真を撮ってましたので、これを畔上順平君に7年経って、まだロータリーで頑張ってるらっしゃると。7年間にいろんなことがありましたよね。



私もレイクタウンの応援の時にですね。横に立って応援したりですね。一生懸命やりました。だけどまだ若い40歳で入って今47歳だ。先は長い。私はもう34歳で入って。来年80歳だ。

もう終わりや。「さあ、順平君出てください。はい、私からのプレゼントです」「ありがとうございます (畔上順平氏)」一言決意の一言今日ですね。

「関根さんがご入会されて、私も7年前これ、ほんとうけていただきまして、本今日日は7年ぶりということで、お会いできて本当に嬉しく思っております。(畔上順平氏)」

「初心を忘れずに頑張りたいと思います。」「は

い、よろしくお願いします」。

ロータリーの最高の感動は出逢いだという風に言われております。このようにして何年経ってもですね。7年経って初めて久しぶりに会ったとし



ても、やはりあの時の畔上順平君とかかですね、あの時の人々がどういう風にして、皆さんとを旧交温めることができる。これがロータリーのやはり一番いいところじゃないですかね。青木さんからお電話を頂いて、そして久しぶりにどうかねって。でも、青木さんもここにハイテクの電池を入れて、三途の川をもう2回も3回も行ったり来たりされてですね。黄泉の世界もご存知だし、現世も知ってるし、こういう方がですね。まだ生き字引としていらっしゃる。そして東京の2580地区に行くんですね、あの保守、王国ですよ。あそこに行くと中村靖治知らねーな。青木伸翁って言ったら、「あ！あの神様か」って私の後輩の島村さんは、青木先生って呼んで、私のことを中村先生と呼んだことない学校の後輩ですけど。彼を先ほどパストカバナーっていう風にしてお呼びになりましたけれども、我々とはちょっと違う。彼は直前ガバナー、今は1年前の直前ガバナーでありました。そして日本には34地区あります。その34地区をまとめるガバナー会の議長を一年間やられたわけでありました。大変なことなんですよ。ガバナー会の議長なんです。1年間大変ですよ？背もちょっと縮んじゃった、昨日モンゴルから帰って明日鹿児島ですよ。もう同じ所じっとしてない。その嶋村さんが今日私がちょこっとしゃべるといところで、わざわざ来ていただいた私の時間を数分差し上げたいと思います。

どうぞ。ロータリーはYESかハイしかないんですよ。

「皆様こんにちは！中村先輩からご紹介頂きました2580地区、東京、北部、沖縄を担当しております、東京東江戸川ロータリークラブ嶋村と申します。今日は本当に入会式おめでとうございませす！今日来たのはですね、中村先輩のお話をさることながら、(笑)違うよ〜！（中村靖治氏）実は青木先生にですね、我が地区は職業奉仕部門ですね、一年間私が出来が悪かったもので、奉仕の理念を未来へ繋ぐ決議23-34というマンガを作りました。メンバーと一緒にやらせて頂いたということで、そのお礼もあってです、参った次第です。佐久間会長のパワフルさをですね、我が地区にも学んでですね、しっかりとしたクラブをこれから皆さんとして盛り上げたいなど。

実は会長はジャカルタでした。僕はモンゴルから昨日帰ってきましたけど、モンゴルで2つのクラブと交流をしてきて、基本的教育の向上ということで、田舎の図書室に図書を寄贈してやってまいりました。

もし宜しければモンゴルもすぐどこに行ってもロータリーですから、モンゴルの方、皆さんとも交流をして頂きたいと思えます。本日はメイクアップさせて頂いたことで感謝を申し上げます。また宜しくお願いします。ありがとうございます。

実は私たち奉仕の理念ということで、大切な方針の理念を分かりやすく、次の世代へつなごうということで漫画を作りました。プラスアルファ皆さん一生懸命ですね。解説も作っていただきましたですね。

我が地区のホームページも載っておりますし、もしよろしければそれぞれの青少年委員会とかでお使いいただければ幸いです。本当に青木先生に感謝してます。ありがとうございます。時間をいただいた中村先輩にも感謝をしています。（嶋村文男氏）」

ロータリーは思いやりが大切だということで、せっかくですからお話を願いました。また明日か

ら鹿児島で国体が始まりますよね、彼の地元の方が国体に出席されて種目何でしたっけ？太極拳ですね。太極拳ですか？



青木さんの奥様が太極拳やってんじゃないですか。7年前はここで帰らせてくれなくて、それで太極拳をやって帰ったのは覚えてますけど、今日もね、どっかでされてるらしいですね。

よろしくお伝えください。そして、今日は吉川青年会議所の理事長の関根守さんが入会をされました。今年度6人目ですか？ まだ7・8・9月ですよ。3か月しか経ってなくて、6人目の方が入会された。

直前ガバナー補佐の尾ヶ井さん。どうする？ 家康じゃないですけどね、素晴らしいですよ。今、越谷5クラブの中で一番活気があって、そして一番皆様が親睦がとれて、いろんな垣根がないクラブは越谷東だという風に言われているんだそうです。

世間の話では尾ヶ井さん間違いありません。我々10グループではそのように話をしていますよ。ですから、私がここで卓話するんだよ。と言ったらですね。是非連れて行ってください。やはりそれなりの魅力がここにはあるんだと思いました。やっぱり、皆様のクラブを愛する人柄、心構え、これがあってからこそそのロータリーだと思います。

今日は私は「変わりゆくロータリー変わらないロータリー」これをですね、皆さんにお話ししようと思って、そしてここに温故知新という言葉を持ってきました。温故知新。会長にここを大きな声でこれを朗読していただきたいと思います。

大きい声でお願いします。「それではご指名ですのでご購読をさせていただきます。いきなり英語が。温故知新・Diversity・Equity・Inclusionなど、今日私たちロータリアンが用いている言葉は、ロータリーが生まれた1990年代初頭にはすでに成立していた言葉です。これらの言葉にロータリーは新しい命を吹き込んで、現在私たちに語りかけます。これが、ロータリーがロータリーであり続けてきた理由のひとつではないでしょうか。古くて新しい団体。温故知新を大切にする団体……。それが国際ロータリーです。ありがとうございました（佐久間誠氏）」

温故知新、古き流行って言葉がありますよね。ロータリーは、やはり古きを大切に新しくどんどん革新を続けていく。2030年に向かってシェイピングロータリーフューチャーSRFって言葉を聞いたかもしれません。

昨年度のRI会長ジェニファーE・ジョーンズはこのDiversity・Equity・Inclusionこの3つDEIという言葉を出されました。私もDEIって何だろうと思いました。ディサービスかな？ん～いろいろ思いました。そしたら、多様性ロータリーにはいろんな方がいらっしゃる。これをすべて温かく迎えて、そしてEquity=イコールじゃないです、公平さ、例えば我々老人にあった話し方、接し方、女性には女性にあった接し方、若い人には若い人の知識を与えるような そういう公平さ これがロータリーには必要だと。

そして、Inclusion温かく皆さんを包み込むようなこういう事をやっていこうじゃないか。

DEIは越谷東が出来た時から、1905年にロータリーが出来た時からポールP・ハリスが言っていた事ですよ。だからなんて事はない、昔の言葉をDEIという言葉に塗り替えただけの話です

元はといえば、やはり国際ロータリーの会員は皆さんじゃなくしてクラブですからクラブがいか、皆さんが大切にできるかって感じる事ができるにはどうしたらいいのかってことですから、普通の話ですよ。ロータリーで日本語で言えば、

これは道徳の時間ですよ。小学校でもやってた。クラブに来たらクラスに入ったらみんなと楽しく仲良くやりましょう。喧嘩をしないで一緒に学んで楽しい学校生活を送りましょう。これを言うだけのことであって、ごくごく当たり前ですよ。

他人の為になることもしよう。この微妙なところにあるのが「超我の奉仕」第一標語になっております。我を超えて世の為、人の為に尽くそうという事がロータリーの第一標語となります。自分が一番可愛い、しかし、一日一膳という言葉もありますが、1週間に1回1週間に1回できなかつたら月に1回でいいじゃないか。

それはできなかつたら年に1回言うことをすればいいじゃないかという、我を越えて奉仕活動しましょう。というのが、今ロータリーで言われている言葉であります。そしてもっとシェイプアップシェイピングしてロータリーをもうガバナー制度をなくして、そして。セクション。日本を102ぐらいの地区に分けてですね。そして統括ガバナーみたいなやつは一入れば沢山だろう。そしてそれを国際ロータリーと直轄にして。交流を蜜にしようというふうなことで今どんどん話が進んでおります。

今年度は合同末期なり。Ribiの方ですね。この人はやはり精神面の事に言いました。何を言ったか、メンタルヘルスですよ。メンタルヘルス、心のケアやはりロータリーでもどこでも人間は活動をしていると心が折れる時もある。心は楽しくなる時もある。しかし、悲しくなる時もある。その時はお互いが助け合って、そして共に良い生活を送りましょう。このメンタルヘルスというのを心の中に飛び込んで話をしたRI会長は初めてでございます。

これまでは奉仕活動とかそういう言葉がいっぱいありましたけれども、奉仕活動はありました。けれど、心の中に飛び込んでいったのは初めて。ということは、あのジェニファージョーンズの何もみんな同じことを言ってるような気がしてなりません。私は。そして次年度はステファニーも負

けない。この方はまたすごい。この方はロータリーの戦略計画でもありますよ今4つあったでしょ？4つその戦略計画のRIの委員長です。そして、2025年には今年規定審議会が開催されます。

彼女の年度に規定審議会が開催されるわけあります。ということは、この規定審議会がこれからの国際ロータリーを大きく変えるターニングポイントに私はなるんじゃないかなという風に思っております。

今はこのsrfという言葉はあまり出ていません。ガバナー会の議長であった嶋村さんも今は抑えとけと多分言われているかもしれません。今、戦略計画委員会の中にちょこっとあるだけですけれども、2025年になったらですね、これが出てきて、そして2030年には日本は一つ。そして100人に分かれて、そしてスタートするかなと第8ゾーンのオーストラリアとニュージーランド、これは会員が激減しておりますけども、もうこのsrfに似たような活動しております。

これをガバナー会の議長であった嶋村さんは日本に言わなくちゃいけない。非常に辛い立場の人間であったわけであります。だけでも日本は変わることに對して、やはり嫌な人が多いんですよ。

特に保守王国と言われたこの嶋村さんの2580地区。それから福岡の2700地区。そして北海道西部の2500の自治区これは三大保守王国ですから、そこからのガバナー会の議長ですから、彼は相当な苦勞をされたんじゃないかなという風に思っております。

しかし、ロータリーは一旦言い出したらですね、DLP CLP戦略計画、ロータリー財団の夢計画にしても1回言い出したら後ろに下がったことがないんですよ。全てそれは実現をしていくんです。

CLPを採用した時に私の年度で採用したんですけど、2007・8年日本で初めて、なんで初めてかというと皆さんが採用しないし、うちには田中作次という大物がいましたから、うちでやらなきゃダメだろう。

しかし、うちの管理運営部門ではその頃はクラ

クラブ方針委員会ですから、それを管理運営部門に変更するということはですね、このCLPはロータリーを滅ぼすと言ってですね、大変な抵抗にあって、私が来年からこのCLPを導入します。管理運営部門それから公共イメージ部門、奉仕プロジェクト部門、ロータリー財団部門、新世代部門この5つにします。米山記念奨学部門もありますけれども、このように言ったらですね、それは4大報酬を潰すことにあると言って、全体の会議の時にクラブ奉仕委員会が全部で40名ですが、10月12日にはもう年次総会の皆さんがあって組織を作らなくちゃいけないから、その前に言わなくちゃいけない。その会場にその40人がピケを張って私を入らせてくれないんですよ。

ロータリーを滅ぼす罪悪人と言うこと、私の前のガバナーが飯野さん、あなたはガバナーはRIの役員でしょ。この状況をどうしますか？ あなたはRIの役員として、あなたのこの部下をどかす義務があるんじゃないんですか？って言ったらそうだってみんなに。みんな！ロータリーは今変革の時代を迎えて、このDLPはもう義務化された。うちはこの2770地区は1999年吉田豊治年度にDLPを採用して、そこからガバナー補佐制度がスタートしてるわけですよ。

でもCLPは任意ですから、2004年に発表されても採用しなかったみんな。どこもしなかった。どこの地区もだから、うちの地区でやろうということをやったわけですけども、ピケを張って入れなかったで、飯野さんが行って説得をして、その40人。あー！これでもう終わりだって言ってですね。10月ですよ。7月からスタートしてクラブ方針委員会は全員退会、委員会なくなっちゃった。そして、私はおもむろに紙を出して、来年からこのようになりますから。地区協議会は奉仕プロジェクト委員会として、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕がスタートしますから、わけわかんなかったけどもいろいろ言われました。あれから15年経ちましたけども今CLPと言ったらあまり抵抗ないですよ、もうみんなそういう風な

感じで管理運営部門、公共イメージ部門という言葉が浸透してるじゃないですか、ロータリーは下がりにません。田中作次さんそこに行ったんですよ。みんなからピケで這ってこうやって反対されて潰されちゃう。ガバナーとして俺は首になるかもしれない。大丈夫だよ、ロータリーは下がらないから1回言ったらロータリーはあこれはまずかったな。ちょっとやめようか。ということは言わないから。だからロータリーを信じて前に進みなさいというふうに言われましたので、そこで進んだわけでありまして。そして今現在にこの地区はなっているわけでありましてけれども。皆さんは違和感なく、これを受け入れてもらっております。このようにして。ロータリーは変化をしていきます。だからあと今2023年ですか？だからあと7年経ったらまたガラッと変わるわけですね。畔上順平君が入った時に、私はリーダーシップという言葉をしたそうであります。リーダーシップとは何か？それはいろいろあるかもしれないけども、相手に対する思いやりもリーダーシップの一つだよという風に言いましたが、7年経ったら国際ロータリーはロータリアンは中核的な価値観コアバリューって言うんですけども、骨太の心を持たなくちゃだめだよという風に言われて、今中核的な価値観を言いました。発表してます。1番目にフェロウシップ親睦ですね、最初に親睦が来ました。そしてそれからインテグリティ。ロータリアンは高潔でなくてはいけない。その前にロータリアンは友情を持たなくてはいけない。この友情はロータリーを通してのフェロウシップ。

クラブと一緒に友情。それからこのロータリアンとしての友情。私と皆さんとはロータリーを通じての友情であります。私と青木さんとは個人的なフレンドシップ。私と尾ヶ井さんとはクラブの疑いのフレンドシップ。

女房と私は、かりそめの愛で結ばれた。ここは笑うとこじゃなくてそうなんだと言ってください。みんないろんなことがありますけれども、やはりこのフェロウシップ、これが一番最初に来たんで

すよ。親睦言いましたよね。

それは高結成、そしてその次が先ほど言ったダイバーシティ多様性、いろんな方を受け入れましょう。そして4番目にサービスが来ました。奉仕ですよ。世のため、人のためになることを。考えましょう。これがロータリアンとしてのこれ、4番目、そして5番目に来たのがリーダーシップであります。

この5つこれがロータリアンにとって必要ですよ。フェローシップ、インテグリティ、ダイバーシティそしてサービス、そしてリーダーシップ。リーダーシップは唯我独尊ではなくして、やはりリーダーの方の集まりのロータリーですから、一人一人のやはり思いを汲んで、ここは合意形成、合意が大事ですよ。

合意が皆さんが取れないやり方はいつかは破綻しますから、常に話し合いが必要です。これがロータリーで言うリーダーシップ会社では縦のリーダーシップですけどロータリーは横のリーダーシップというふうに思っただけであればありがたいと思います。ですから、田中作次はその前にポールハリスは寛容という言葉言いました。ロータリーを作る時に寛容だけでも、田中作次は寛容だけではダメだよ。やはりロータリーは忍耐も必要だよ。いろんな人がいるじゃないですか。

秋山さんは今84歳。私は79歳。いくら追っかけても追いつかないんですよ。先輩。先輩は先輩でちゃんと話しなくちゃいけない。嶋村さんはどんなに偉くなくても中村先輩。先生とは言ってくれない。それで良いんですよ。礼儀はきちんと我々は持ってますね。先輩は大事にする。

株竹さんの奥さんが私がソルトレイクシティでの国際大会の時に写真を撮る時に私のところに走ってきてですね。ちょこんと座りましたよ。どこのお嬢さんかな？と思ったらですよ。「私、株ちゃんです。」そうですか、それ以来忘れることもできない女性になってですね、この人の親父を一度見てみたいとずっと思ってお会いできましたけど、今日もご挨拶に来て頂いて、来るとやはり

奥さんの話をされるんですよ。嬉しいですよ。ロータリーは家族ですから、こういうのがロータリアンにとって必要なという風に思います。ロータリーの出会いは最高の感度は出逢いだという風なことが意味わかんと思います。RLIは私は2016年から2022年まで7年間やりましたよ。

で、もう今は後輩に譲って今は卒業しました。あちこちで話はしますけれども、もう実際のトレーニングはもう今はしません。もう若手がどんどん出てきてですね。そしてもう今研修リーダーって言葉もなくなったじゃないですか？研修リーダーって誰って？もう研修って言葉を国際ロータリーが辞めました。トレーニングじゃないんですよ。ラーニングなんですよ。ラーニング、そして研修リーダーのことをリーダーと呼ばない。ファシリテーターと言うんですよ。

RLIと一緒にじゃないですか。ファシリテーターだから、我々はもう壇上の方から立ってますね、話をしちやいけない。皆さんと同じ目線のところに降りてきて、共にラーニング学びましょうということなんです。ラーニングセンターっていうのはトーストマスターズっていう項目はありますから、そこを見るとですね。

みんな同じようになって話し方の勉強してるんですよ。もう身振り手振りしながらですね、いかがですか？どうですか？そして皆さんと問いかけをしながら学んでいく、ですから、今度この地区もディスカッションリーダー DLっていう言葉は9月から訂正になってファシリテーターという風な名前になります。

ファシリテーターとは橋渡しの訳ですよ。進行役ですよ。進行役ってことは共に学びながらどうですか？今言ったことご質問がありますか？そういう風に言ってですね。これが日本全国でも9月からDLという言葉は使いませんので、ファシリテーターという言葉になります。

地区研修リーダーもファシリテーターに。地区協議会、それからPETSありますね。会長さんが行うPETSあれだって今度名前変わるかもしれな

外部卓話

い。PETSのPはプレジデントでしょ？ 会長E がエレクトじゃないですか？ T、研修テクノロジー。

そういう風になる可能性がありますので、そういう風にしてロータリーは変わっていきますよ。という風なことを私は言いたいんですけど、しかし変わらないロータリーは今日言った通り時間があまりないで終わりますけど、この温故知新、私たちは職業人でもあり、それから職業人じゃない今は主婦も入ってきてるわけですよ。ハウスイフこれもロータリアンとして慣れました。フルタイムハウスイフかフルタイムじゃないハウスイフかわかりませんが、それはいかに関わらずハウスイフ、そしてボランティアの代表者。

それとクラブが認めてこの人は必要だという風な方、これはロータリーに入会ができるようになりました。これがダイバーシティという多様性ということの一つの表れでございます。ですから、青木さんが職業奉仕、この理論をずっと通してあります。これはこれで素晴らしい。

多分このまま三途の川を渡って青木さんは消えてゆく。だがしかしですね、消えてゆくときにも別々の道ができていくかもしれない。しかしそれは、その人の考え方ひとつですから、青木さんは己が信ずる道を行くべきだと思います。あの嶋村

さんの地区の2580地区で去年講演されたのは30回ぐらいあると聞きましたけどいかがですか？ 向こうに移籍したっていいんですよ。そのくらいですね、超有名。我々は呼ばれたことがない保守王国ですから。だから本当にね。骨董的財産価値のある方がこの越谷東がいらっしゃるわけでありまして。だけど、やはりご縁でございますので、また7年後生きていたらですね。

また呼んで頂いて、そしてその時にはもう、平林さんいないかもしれないけど、またお会いできたらこれはこれで ご縁でいいかなと。秋山さんもお元気にいて7年後だから91歳だ。

91歳。私が79だから86だ。そのくらいまだ生きていたいと思いますけれども。尾ヶ井さんに言われると、後に2・3年でしょ中村さんは。って言われてですね、ちょっと車の中でがっかりしたんですけど。

なるべく頑張るってやるようにしたいと思います。あとは出席報告とニコニコボックスの報告がありますので、ここで終わりにさせていただきます。本日はありがとうございました。入会された関根さん、頑張ってください。そして7年目の順平君また7年後に会いましょう。はい。以上です。ありがとうございました。



本日、2022～2023年度の一般会計収支等の決算書がまとまり、監査して頂いた後、会計監査の阿部朋博会員、立会人代表の隅田 敏会員の署名、捺印を頂き、前年度、小林賢弘会長、北林隆一幹事に、提出を完了致しました。概要は、次年度の年度計画書に記載されることとなっております。内容を前もって確認されたい方は、事務局のほうに一式保管されておりますので、いつでもご確認頂きたいと思っております。この決算概要で、今年度会計の宮下智之会員に引き継ぎをさせていただきます。

今回、諸事情があり決算書作成に少し時間がかかったことをお詫びし、前年度、会計からの報告とさせていただきます。

今 回	22,500円
累 計	247,000円



次回例会のご案内

第1751回 9月28日

会員卓話

高橋 功、栗屋 裕二

